

第67号 「竹内まりや」

♪クリスマスが 今年も やってくる～♪竹内まりやの「すてきなホリデイ」です。私が口ずさみたくなるクリスマスソングです。

クリスマスソングには、山下達郎「クリスマス・イブ」、松任谷由実「恋人がサンタクロース」、桑田佳祐「白い恋人達」、マライア・キャリー「恋人たちのクリスマス」、ワム!「ラスト・クリスマス」、あるいはビング・クロスビー「ホワイト・クリスマス」など、名曲がたくさんあります。その中でも、ケンタッキーフライドチキンのCM曲だった「すてきなホリデイ」は、家族で過ごすというクリスマス本来の姿を思い浮かべることのできる名曲だと思っています。

ご存知のこととは思いますが、竹内まりやは大社町出身です。1955年に竹野屋旅館の6人兄弟の三女として生まれました。大社高校在学中に交換留学制度によりアメリカのハイスクールに留学、高校卒業後は慶応義塾大学文学部英文学科へ進学しましたが、音楽活動を優先させるために大学を中退、78年にソロデビューを果たしました。79年に日本レコード大賞新人賞を受賞、80年にリリースした「不思議なピーチパイ」が大ヒットし、アーティストとして不動の地位を確立しました。しかし、アイドル的な活動と自分が希望する音楽活動とのギャップに悩み、81年に休養を宣言。82年に山下達郎と結婚。休養中に作りためたオリジナル曲を84年にリリースして復活しましたが、それ以降は子育てや家庭を優先するためにメディアへの露出やライブ活動はほとんど行っていません。このことから山下は「シンガーソング専業主婦」と命名したそうですが、竹内は「シンガーソング兼業主婦」と言い返したとされています。

彼女は、デビュー40年を超えた今でも、多くの人から愛され続けています。女性アーティストとして初めて、昭和・平成・令和の3時代でオリコンアルバムランキング1位を獲得しました。そして2019年の紅白歌合戦初出場も決めました。彼女の音楽は、様々なアーティストに曲を提供していたこともあり、非常にバラエティー豊かです。しかし、どの時代においても、素直な表現が心に響きます。彼女の無理をしない、力の入り過ぎない、自然体の生き方が表現されているからだと思っています。

今後、彼女がどのような音楽を作り出してくれるのか、音楽に携わった者としても島根県民としても非常に楽しみにしています。ちなみに、私が最も好きな彼女の曲は、1987年に河合奈保子に提供した「けんかをやめて」です。申し訳ありません。私が河合奈保子を好きだったという不純な理由です。